



## ☑ 梅雨入り前に チェック

もしもに備えて、非常持出袋や土のうなど、日頃から準備することが大切です。日常的に非常食を食べて、消費した分を買い足し、備蓄するローリングストック法も効果的です。

## 非常持出袋の中身

- ポータブルトイレ
- 生理用品
- 缶詰・レトルト食品
- 携帯用バッテリー
- 懐中電灯
- 救急用品
- 飲料水
- 電池
- ラジオ
- 着替え



## 土のうの活用

家屋の浸水被害を防ぐためには、玄関などに土のうを置くのが効果的です。誰でも自由に使える土のうを各校区のコミュニティセンターなどに準備。数に限りがあるので、必要最小限の数を利用して下さい。



### 災害前のポイント 1

## ハザードマップを確認する

災害時に安全で確実な避難行動が取れるよう、ハザードマップをホームページで公開しています。自宅や学校、職場などよく立ち入る地域にどのような危険があるのかを見られます。避難場所やそこまでの経路、移動手段を計画してください。



### 災害前のポイント 2

## マイタイムラインを作成する

災害に備えて、前もって取るべき行動を決めてまとめたものを「マイタイムライン」といいます。災害への心構えができ、自分や家族の命を守ることに繋がります。市は出前講座を用意しています。災害前に活用してください。



予測できない災害に備える

# 適切な対策と行動で 命を守る

近年、久留米市では大規模な自然災害が多発しています。いつ、どれくらいの規模で発生するのか予測が難しい自然災害。日頃からの備えが大切です。



平成30年7月豪雨時、池町川の中央浄化センター付近

### 警戒レベルに応じた行動を

災害発生の際、市は警戒レベルに応じて避難情報を出します。市のホームページやLINE、テレビなどを使って情報収集をしてください。警戒レベル4「避難指示」は災害の恐れが高まっている段階です。危険な場所から速やかに避難を。その他、川が増水しているなど、見慣れた光景に変化が見られる場合も、避難するタイミングです。自分の身を守るために、各レベルの意味を確認し、適切な行動を取ってください。

☎防災対策課 (0942-309712)



家屋の清掃と乾燥が最も重要で、床下の消毒は原則不要とされています。今年度から、市も国の見解に基づき、床下消毒は原則として行いません。今後は、清掃や床下の水抜きなどの支援を目的に、排水ポンプを貸し出します。詳しくは問い合わせ先に確認してください。

### 災害ボランティアの活用

自然災害で一定規模以上の被害が生じた場合、「災害ボランティアセンター」を開設します。被災し、自力での復旧作業が困難な人を支援。センターの職員が状況を把握し、ごみや家具の搬出、水出しなどを行うボランティアが手伝いに行きます。支援が必要な人は、問い合わせ先に連絡してください。

☎久留米市社会福祉協議会 (0942-343090)

床下の消毒は原則不要  
国は、感染症予防には浸水した

☎保健予防課 (0942-309730)

作業時は感染症対策を  
水害で家屋が浸水すると、細菌やカビが繁殖し、感染症のリスクが高まります。その対策として、清掃と乾燥が重要です。清掃作業をする時に土ほこりを吸い込んだり、傷口から菌が入ったりして感染症を引き起こすことがあります。次のことに注意してください。

### 日常を取り戻すために

